

【表紙】

| | |
|------------|----------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 中国財務局長 |
| 【提出日】 | 平成24年6月13日 |
| 【四半期会計期間】 | 第64期第2四半期（自平成24年2月1日至平成24年4月30日） |
| 【会社名】 | アラハタ株式会社 |
| 【英訳名】 | AOHATA Corporation |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 野澤 栄一 |
| 【本店の所在の場所】 | 広島県竹原市忠海中町一丁目1番25号 |
| 【電話番号】 | (0846)26-0111 |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役経営推進本部長 矢萩 直秀 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 広島県竹原市忠海中町一丁目1番25号 |
| 【電話番号】 | (0846)26-0111 |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役経営推進本部長 矢萩 直秀 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第63期 第2四半期連結 累計期間 | 第64期 第2四半期連結 累計期間 | 第63期 |
|---------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|
| 会計期間 | 自平成22年 11月1日 至平成23年 4月30日 | 自平成23年 11月1日 至平成24年 4月30日 | 自平成22年 11月1日 至平成23年 10月31日 |
| 売上高(千円) | 9,911,763 | 9,781,945 | 19,000,088 |
| 経常利益(千円) | 751,781 | 588,414 | 963,082 |
| 四半期(当期)純利益(千円) | 396,352 | 307,997 | 525,846 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | 396,735 | 335,910 | 528,474 |
| 純資産額(千円) | 9,007,621 | 9,371,364 | 9,087,653 |
| 総資産額(千円) | 12,924,404 | 13,472,959 | 12,554,579 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円) | 57.55 | 44.72 | 76.35 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円) | - | - | - |
| 自己資本比率(%) | 68.6 | 68.5 | 71.2 |
| 営業活動による キャッシュ・フロー(千円) | 445,050 | 652,437 | 561,388 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー(千円) | 261,178 | 491,057 | 475,202 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー(千円) | 55,777 | 448,118 | 107,320 |
| 現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円) | 416,289 | 468,013 | 1,156,679 |

| 回次 | 第63期 第2四半期連結 会計期間 | 第64期 第2四半期連結 会計期間 |
|----------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 会計期間 | 自平成23年 2月1日 至平成23年 4月30日 | 自平成24年 2月1日 至平成24年 4月30日 |
| 1株当たり四半期純利益金額 (円) | 36.21 | 34.95 |

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第63期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、東日本大震災の影響から緩やかに持ち直しているものの、欧州の政府債務危機や海外景気の下振れの影響に加え、電力供給の制約や原子力災害の影響、高水準が続く失業率など懸念材料も多く、厳しい状況で推移いたしました。消費者物価の下落テンポは緩和されつつありますが、食品の販売場面での低価格志向は継続しており、緩やかなデフレ状況にあります。また、安定供給への懸念が続く原油を始め、砂糖や穀物類など主要作物の国際相場は高値で推移しており、原材料の仕入れ価格の上昇に予断を許さない厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは年度方針として、引き続き「1.人材育成」「2.原料起点経営」「3.コスト挑戦」「4.営業革新」に取り組み、基盤強化と体質転換を図るとともに、「5.お客様の求める価値の実現」を重要課題と位置づけ、新たな価値の創出と提案に努めることをテーマに掲げ取り組んでまいりました。今春には、“ジャムを毎日食べる”ヘビーユーザーに向けて、軽量びんを用い利便性を高めた「アヲハタ・55ジャム」の大容量タイプ(490g~500g)を発売いたしました。また、赤ちゃんの頃からフルーツのおいしさに出会うことで、フルーツ好きで健康なお子様に育ってほしい、という願いを込めた育児食「キューピー・ベビーデザート フルーツジュレ」シリーズを発売いたしました。4月には、ジャムに関する情報発信拠点として、工場見学の受け入れやジャムづくりが体験できる「アヲハタ ジャムデッキ」をオープンいたしました。

売上につきましては、ジャム類では今春新たに発売した「アンズジャム」を加えた「アヲハタ・カロリー50%カットジャム」シリーズは伸長しましたが、ジャム類全体では前年同期を下回りました。調理食品類は「キューピーやさしい献立」シリーズは大幅に伸長しましたが、調理食品類全体では前年同期を下回りました。産業用加工品類は、フルーツ原料販売が大幅に伸長し、フルーツ・プレパレーションも好調に推移したことなどにより、産業用加工品類全体では前年同期を上回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は97億81百万円(前年同期比1.3%減)となりました。

利益につきましては、原材料価格が上昇したことなどにより、営業利益は5億81百万円(前年同期比21.6%減)、経常利益は5億88百万円(前年同期比21.7%減)、四半期純利益は3億7百万円(前年同期比22.3%減)となりました。

(2) 財政状態

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ9億18百万円増加し134億72百万円となりました。資産の増減の主な要因は、現金及び預金の減少6億88百万円、受取手形及び売掛金の増加7億41百万円、商品及び製品の増加2億81百万円、原材料及び貯蔵品の増加4億22百万円などです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ6億34百万円増加し41億1百万円となりました。負債の増加の主な要因は、短期借入金の増加5億円、支払手形及び買掛金の増加2億13百万円などです。

また、純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億83百万円増加し93億71百万円となりました。純資産の増加の主な要因は、利益剰余金の増加2億56百万円などです。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ6億88百万円減少し、4億68百万円となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果支出した資金は、6億52百万円（前年同期比2億7百万円の支出増加）となりました。主な増減要因は、税金等調整前四半期純利益5億79百万円に加え、仕入債務の増加2億13百万円、売上債権の増加7億41百万円およびたな卸資産の増加7億1百万円などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は、4億91百万円（前年同期比2億29百万円の支出増加）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得4億80百万円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、4億48百万円（前年同期比5億3百万円の収入増加）となりました。主な要因は、短期借入金の増加5億円などによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、1億20百万円であります。なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 24,000,000 |
| 計 | 24,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年4月30日) | 提出日現在発行数(株) (平成24年6月13日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内容 |
|------|--|-----------------------------|------------------------------------|---|
| 普通株式 | 6,900,000 | 6,900,000 | 東京証券取引所 (市場第二部) | ・権利内容に何ら限定 のない当社における 標準となる株式 ・単元株式数 100株 |
| 計 | 6,900,000 | 6,900,000 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総 数増減数 (株) | 発行済株式総 数残高 (株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金増 減額(千円) | 資本準備金残 高(千円) |
|------------------------------|-----------------------|----------------------|----------------|---------------|------------------|-----------------|
| 平成24年2月1日 ~ 平成24年4月30日 | - | 6,900,000 | - | 644,400 | - | 714,563 |

(6) 【大株主の状況】

平成24年4月30日現在

| 氏名又は名称 | 住所 | 所有株式数 (千株) | 発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%) |
|-----------|-------------------|---------------|--------------------------------|
| 株式会社中島董商店 | 東京都渋谷区渋谷 1-4-13 | 1,354 | 19.63 |
| キュービー株式会社 | 東京都渋谷区渋谷 1-4-13 | 1,088 | 15.77 |
| 株式会社ユー商会 | 東京都渋谷区渋谷 1-4-13 | 800 | 11.59 |
| アラハタ持株会 | 広島県竹原市忠海中町 1-1-25 | 371 | 5.38 |
| 廿日出 多真夫 | 神奈川県川崎市高津区 | 142 | 2.06 |
| 廿日出 郁夫 | 広島県竹原市 | 83 | 1.21 |
| 東洋製罐株式会社 | 東京都品川区東五反田 2-18-1 | 70 | 1.01 |
| 中島 周 | 東京都渋谷区 | 65 | 0.96 |
| 中島 千晶 | 東京都世田谷区 | 64 | 0.94 |
| 中島 千鶴 | 東京都渋谷区 | 64 | 0.93 |
| 計 | - | 4,103 | 59.47 |

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年4月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|-------------------------|----------|-----------------------------------|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | (自己保有株式) 普通株式 12,900 | - | 権利内容に何ら限定 のない当社における 標準となる株式 |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 6,874,800 | 68,748 | 同上 |
| 単元未満株式 | 普通株式 12,300 | - | 同上 |
| 発行済株式総数 | 6,900,000 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 68,748 | - |

【自己株式等】

平成24年4月30日現在

| 所有者の氏名又 は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株 式数(株) | 他人名義所有株 式数(株) | 所有株式数の合 計(株) | 発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%) |
|----------------------|-----------------------|------------------|------------------|-----------------|--------------------------------|
| (自己保有株式) アラハタ株式会社 | 広島県竹原市忠海 中町 1-1-25 | 12,900 | - | 12,900 | 0.19 |
| 計 | - | 12,900 | - | 12,900 | 0.19 |

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年2月1日から平成24年4月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年11月1日から平成24年4月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年10月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成24年4月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,156,679 | 468,013 |
| 受取手形及び売掛金 | 3,141,987 | 3,883,889 |
| 商品及び製品 | 1,127,852 | 1,409,029 |
| 仕掛品 | 28,623 | 26,228 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,993,924 | 2,416,164 |
| その他 | 249,633 | 260,911 |
| 貸倒引当金 | 15,948 | 20,925 |
| 流動資産合計 | 7,682,751 | 8,443,311 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 1,643,455 | 1,768,178 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 990,743 | 996,410 |
| 土地 | 1,311,042 | 1,311,042 |
| その他(純額) | 98,173 | 140,865 |
| 有形固定資産合計 | 4,043,414 | 4,216,496 |
| 無形固定資産 | 62,345 | 63,494 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 386,379 | 402,467 |
| その他 | 384,870 | 352,371 |
| 貸倒引当金 | 5,182 | 5,182 |
| 投資その他の資産合計 | 766,067 | 749,657 |
| 固定資産合計 | 4,871,827 | 5,029,648 |
| 資産合計 | 12,554,579 | 13,472,959 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,976,702 | 2,189,922 |
| 短期借入金 | - | 500,000 |
| 未払法人税等 | 172,671 | 228,404 |
| 賞与引当金 | 270,965 | 228,934 |
| 役員賞与引当金 | 8,158 | 1,995 |
| その他 | 496,707 | 420,160 |
| 流動負債合計 | 2,925,204 | 3,569,418 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 407,262 | 426,891 |
| 資産除去債務 | 57,874 | 57,994 |
| その他 | 76,584 | 47,291 |
| 固定負債合計 | 541,722 | 532,177 |
| 負債合計 | 3,466,926 | 4,101,595 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年10月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成24年4月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 644,400 | 644,400 |
| 資本剰余金 | 714,594 | 714,594 |
| 利益剰余金 | 7,531,999 | 7,788,342 |
| 自己株式 | 13,397 | 13,542 |
| 株主資本合計 | 8,877,596 | 9,133,794 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 70,939 | 86,231 |
| 繰延ヘッジ損益 | 3,197 | 457 |
| 為替換算調整勘定 | 405 | 10,214 |
| その他の包括利益累計額合計 | 67,335 | 96,903 |
| 少数株主持分 | 142,721 | 140,666 |
| 純資産合計 | 9,087,653 | 9,371,364 |
| 負債純資産合計 | 12,554,579 | 13,472,959 |

(2) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【 四半期連結損益計算書】

【 第 2 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年11月 1 日 至 平成23年 4 月30日) | 当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年11月 1 日 至 平成24年 4 月30日) |
|---------------------|--|--|
| 売上高 | 9,911,763 | 9,781,945 |
| 売上原価 | 8,265,915 | 8,269,154 |
| 売上総利益 | 1,645,847 | 1,512,790 |
| 販売費及び一般管理費 | 903,195 | 930,814 |
| 営業利益 | 742,652 | 581,975 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 238 | 245 |
| 受取配当金 | 2,521 | 2,425 |
| 受取賃貸料 | 12,198 | 12,114 |
| その他 | 5,404 | 3,433 |
| 営業外収益合計 | 20,362 | 18,218 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 89 | 425 |
| 賃貸費用 | 7,076 | 7,356 |
| 固定資産除却損 | 3,889 | 1,253 |
| 為替差損 | 12 | 2,392 |
| その他 | 165 | 352 |
| 営業外費用合計 | 11,233 | 11,780 |
| 経常利益 | 751,781 | 588,414 |
| 特別利益 | | |
| 貸倒引当金戻入額 | 74 | - |
| 特別利益合計 | 74 | - |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | - | 8,875 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 53,712 | - |
| 災害による損失 | 40,387 | - |
| 投資有価証券評価損 | 460 | - |
| 特別損失合計 | 94,559 | 8,875 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 657,296 | 579,538 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 292,897 | 225,243 |
| 法人税等調整額 | 30,930 | 48,227 |
| 法人税等合計 | 261,966 | 273,471 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 395,330 | 306,067 |
| 少数株主損失 () | 1,022 | 1,930 |
| 四半期純利益 | 396,352 | 307,997 |

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年11月1日 至平成23年4月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年4月30日) |
|-----------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 395,330 | 306,067 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 3,416 | 15,292 |
| 繰延ヘッジ損益 | 4,821 | 3,930 |
| 為替換算調整勘定 | - | 10,619 |
| その他の包括利益合計 | 1,405 | 29,842 |
| 四半期包括利益 | 396,735 | 335,910 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 397,703 | 337,564 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 967 | 1,654 |

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年11月1日 至平成23年4月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年4月30日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 657,296 | 579,538 |
| 減価償却費 | 231,696 | 243,545 |
| 賞与引当金の増減額(は減少) | 32,638 | 42,030 |
| 役員賞与引当金の増減額(は減少) | 1,942 | 6,163 |
| 退職給付引当金の増減額(は減少) | 21,948 | 19,628 |
| 貸倒引当金の増減額(は減少) | 3,310 | 4,976 |
| 受取利息及び受取配当金 | 2,760 | 2,670 |
| 支払利息 | 89 | 425 |
| 為替差損益(は益) | 9 | 2,392 |
| 有形固定資産除却損 | 3,889 | 10,129 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 53,712 | - |
| 投資有価証券評価損益(は益) | 460 | - |
| 売上債権の増減額(は増加) | 790,870 | 741,902 |
| たな卸資産の増減額(は増加) | 605,761 | 701,022 |
| 仕入債務の増減額(は減少) | 345,480 | 213,220 |
| その他の流動資産の増減額(は増加) | 10,656 | 44,962 |
| その他の流動負債の増減額(は減少) | 137,969 | 11,159 |
| その他 | 10,231 | 7,669 |
| 小計 | 274,935 | 461,403 |
| 利息及び配当金の受取額 | 2,760 | 2,670 |
| 利息の支払額 | 83 | 490 |
| 役員退職慰労金の支払額 | 285 | 30,200 |
| 法人税等の支払額 | 180,867 | 170,567 |
| その他の収入 | 8,360 | 7,552 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 445,050 | 652,437 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | 269,186 | 480,785 |
| 無形固定資産の取得による支出 | 1,765 | 10,460 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 2,639 | - |
| 投資有価証券の取得による支出 | 123 | 10,124 |
| 投資有価証券の売却による収入 | - | 10,000 |
| その他 | 7,257 | 313 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 261,178 | 491,057 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(は減少) | - | 500,000 |
| 自己株式の取得による支出 | 150 | 144 |
| 配当金の支払額 | 54,827 | 51,336 |
| 少数株主への配当金の支払額 | 800 | 400 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 55,777 | 448,118 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 9 | 6,709 |
| 現金及び現金同等物の増減額(は減少) | 762,016 | 688,666 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,178,306 | 1,156,679 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 416,289 | 468,013 |

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間
(自平成23年11月1日
至平成24年4月30日)

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(法人税率の変更等による影響)

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)および「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が、平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以降開始する連結会計年度より法人税率が変更されることとなりました。これにともない、繰延税金資産および繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は、従来の40.4%から、平成24年11月1日に開始する連結会計年度から平成26年11月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異等については37.8%に、平成27年11月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異等については35.4%となります。この税率変更により、繰延税金資産(繰延税金負債の金額を控除した金額)が32,024千円減少し、その他有価証券評価差額金が5,775千円増加し、法人税等調整額(借方)が37,800千円増加しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

| 前連結会計年度 (平成23年10月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成24年4月30日) | | | | | | | | | | | | |
|---|---|--------|------------|---------|----|---------|---|--------|--------|------------|---------|----|---------|
| 1. 偶発債務 保証債務 下記保証先の金融機関からの借入金に対して連帯保証 しております。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">(被保証者)</td> <td style="text-align: center;">(保証金額)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">杭州丘比食品有限公司</td> <td style="text-align: right;">7,077千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: right;">7,077千円</td> </tr> </table> | (被保証者) | (保証金額) | 杭州丘比食品有限公司 | 7,077千円 | 合計 | 7,077千円 | 1. 偶発債務 保証債務 下記保証先の金融機関からの借入金に対して連帯保証 しております。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">(被保証者)</td> <td style="text-align: center;">(保証金額)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">杭州丘比食品有限公司</td> <td style="text-align: right;">7,376千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合計</td> <td style="text-align: right;">7,376千円</td> </tr> </table> | (被保証者) | (保証金額) | 杭州丘比食品有限公司 | 7,376千円 | 合計 | 7,376千円 |
| (被保証者) | (保証金額) | | | | | | | | | | | | |
| 杭州丘比食品有限公司 | 7,077千円 | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 7,077千円 | | | | | | | | | | | | |
| (被保証者) | (保証金額) | | | | | | | | | | | | |
| 杭州丘比食品有限公司 | 7,376千円 | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 7,376千円 | | | | | | | | | | | | |
| 2. | 2. 1. 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理につい ては、手形交換日をもって決済処理しております。な お、当第2四半期連結会計期間末日が金融機関の休日 であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形 が四半期連結会計期間末残高に含まれております。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">受取手形</td> <td style="text-align: right;">10,940千円</td> </tr> </table> | 受取手形 | 10,940千円 | | | | | | | | | | |
| 受取手形 | 10,940千円 | | | | | | | | | | | | |

(四半期連結損益計算書関係)

| 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年11月1日 至平成23年4月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年4月30日) |
|--|--|
| 販売費及び一般管理費のうち、主要な費目および金額は 次のとおりであります。 | 販売費及び一般管理費のうち、主要な費目および金額は 次のとおりであります。 |
| 運送費及び保管料 | 運送費及び保管料 |
| 188,276千円 | 203,200千円 |
| 給与手当 | 給与手当 |
| 227,217千円 | 225,132千円 |
| 賞与引当金繰入額 | 賞与引当金繰入額 |
| 62,231千円 | 56,874千円 |
| 役員賞与引当金繰入額 | 役員賞与引当金繰入額 |
| 3,802千円 | 1,995千円 |
| 退職給付引当金繰入額 | 退職給付引当金繰入額 |
| 32,109千円 | 28,140千円 |
| 貸倒引当金繰入額 | 貸倒引当金繰入額 |
| 3,385千円 | 4,976千円 |
| 研究開発費 | 研究開発費 |
| 131,952千円 | 120,172千円 |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

| 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年11月1日 至平成23年4月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年4月30日) |
|--|--|
| 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借 対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年4月30日現在) | 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借 対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成24年4月30日現在) |
| 現金及び預金勘定 416,289千円 | 現金及び預金勘定 468,013千円 |
| 現金及び現金同等物 416,289千円 | 現金及び現金同等物 468,013千円 |

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年11月1日 至平成23年4月30日)

(1) 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり配 当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|-------------|------------|-------|
| 平成23年1月27日 定時株主総会 | 普通株式 | 55,098 | 8.00 | 平成22年10月31日 | 平成23年1月28日 | 利益剰余金 |

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期
間末後となるもの

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり配 当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|-------------------|-------|----------------|-----------------|------------|-----------|-------|
| 平成23年6月9日 取締役会 | 普通株式 | 51,654 | 7.50 | 平成23年4月30日 | 平成23年7月8日 | 利益剰余金 |

当第2四半期連結累計期間(自平成23年11月1日 至平成24年4月30日)

(1) 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり配 当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|-------------|------------|-------|
| 平成24年1月27日 定時株主総会 | 普通株式 | 51,653 | 7.50 | 平成23年10月31日 | 平成24年1月30日 | 利益剰余金 |

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期
間末後となるもの

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり配 当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|-------------------|-------|----------------|-----------------|------------|-----------|-------|
| 平成24年6月8日 取締役会 | 普通株式 | 51,653 | 7.50 | 平成24年4月30日 | 平成24年7月9日 | 利益剰余金 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年11月1日 至平成23年4月30日)

当社グループは、食品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年11月1日 至平成24年4月30日)

当社グループは、食品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年11月1日 至平成23年4月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年4月30日) |
|---------------------|--|--|
| 1株当たり四半期純利益金額 | 57円55銭 | 44円72銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額(千円) | 396,352 | 307,997 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る四半期純利益金額(千円) | 396,352 | 307,997 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 6,887,255 | 6,887,128 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成24年6月8日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額 51,653千円

(ロ) 1株当たりの金額 7円50銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日 平成24年7月9日

(注) 平成24年4月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いをおこないます。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年6月13日

アラハタ株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 櫻井 均 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 阿部 純也 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているアラハタ株式会社の平成23年11月1日から平成24年10月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年2月1日から平成24年4月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年11月1日から平成24年4月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、アラハタ株式会社及び連結子会社の平成24年4月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。